

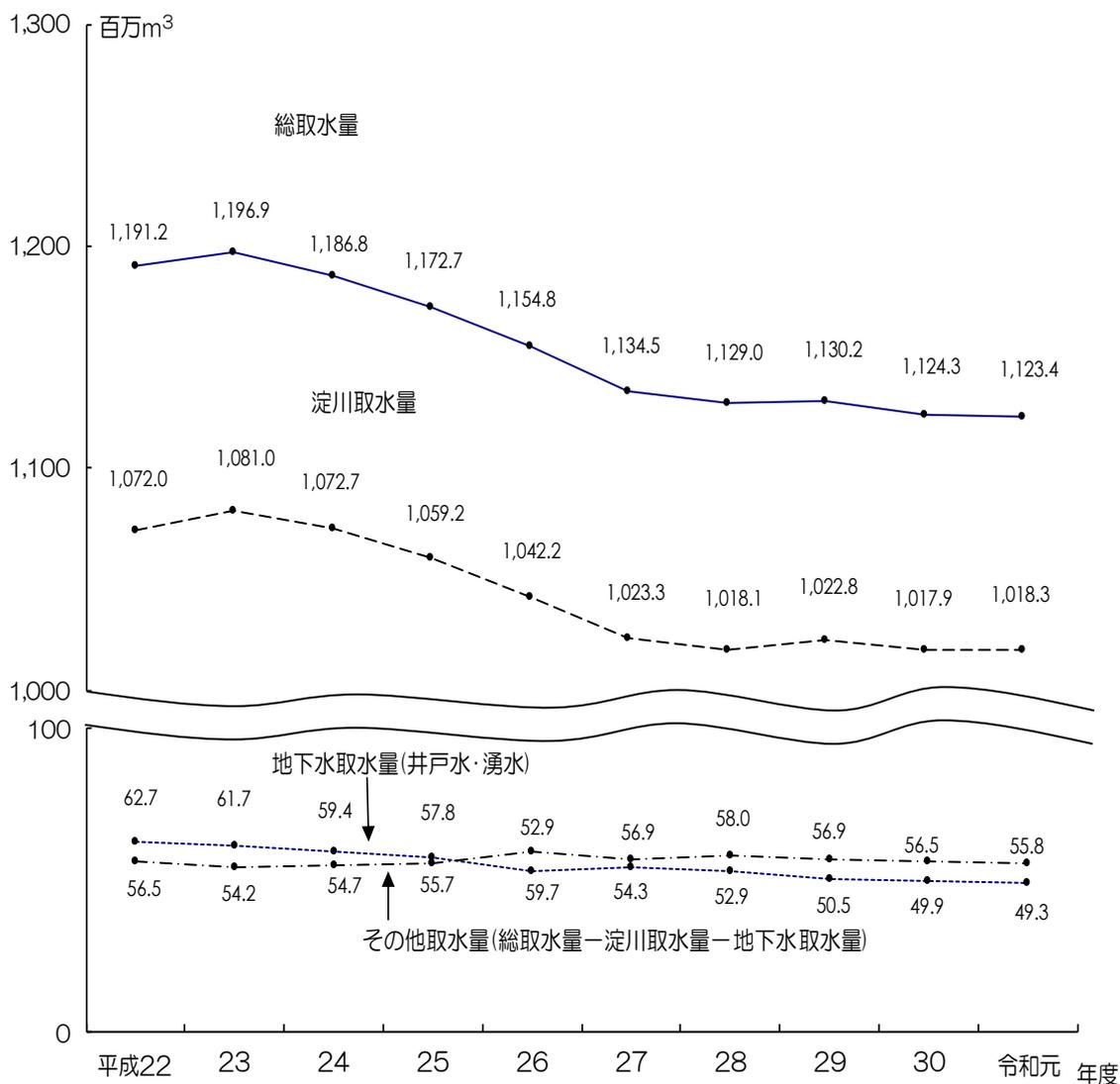
## (2) 年間取水量と水源内訳

年間取水量は平成4年度の1,419.0百万m<sup>3</sup>をピークとし、平成8年度までは若干の増減で変動していたが、以降は減少し続けている。令和元年度の年間総取水量は1,123.4百万m<sup>3</sup>で、平成30年度より0.9百万m<sup>3</sup>減少した。(図-5)

府内の河川は淀川を除き、ほとんどが中小規模であり、流域面積が小さく、流況も不安定なため、全取水量に占める割合は令和元年度で約5.0%と少なく、また、地下水についても近年は取水量が減少または横ばい傾向となっている。

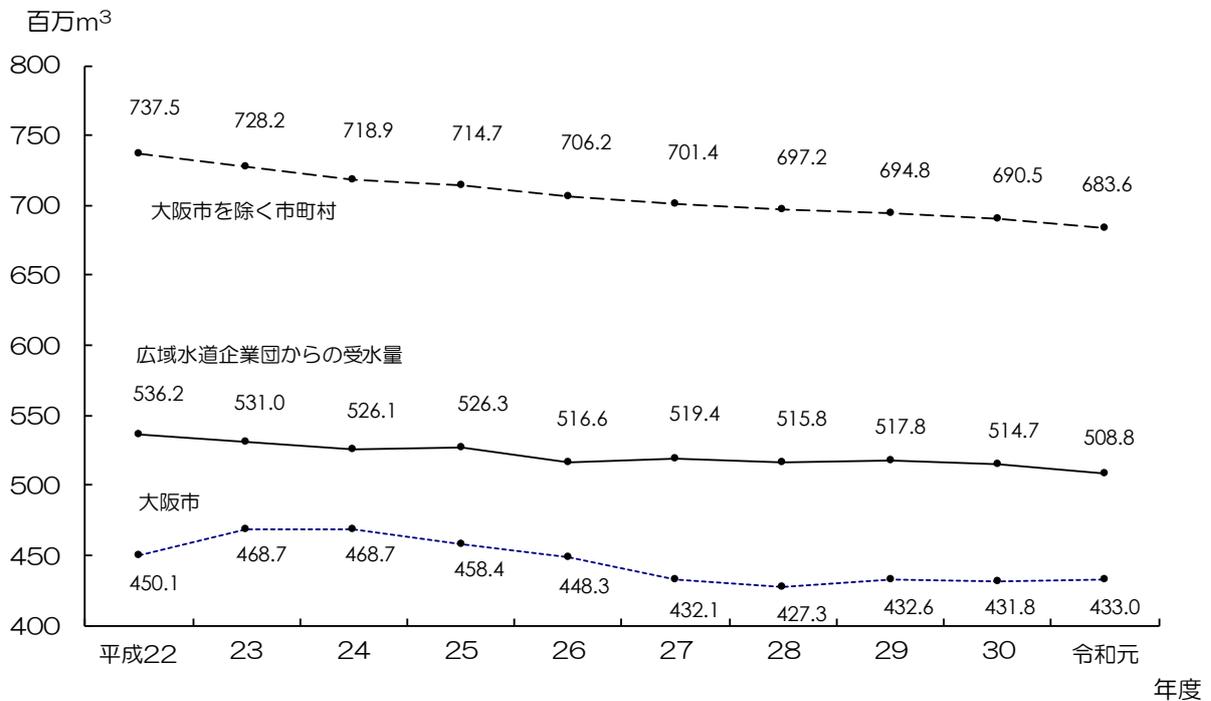
このため、大阪府の水道水源は、上流に琵琶湖をもつ淀川に大半を依存しており、その依存率は令和元年度で90.6%に達し、現在、大阪広域水道企業団並びに大阪市、吹田市、枚方市、及び守口市が淀川から取水している。

図-5 上水道の水源別取水量（用水供給を含む）



なお、大阪市を除く市町村水道の大阪広域水道企業団からの受水量は、令和元年度は508.8百万m<sup>3</sup>である。その依存率は74.4%で、近年は横ばい又は微増傾向となっている。(図一六、図一七)

図一六 上水道の年間取水量



図一七 大阪市を除く市町村上水道の企業団水依存率

